

環境調査結果のお知らせ

令和3年4月8日午前に野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が18.3～18.8℃、塩分が33.5～34.6、溶存酸素量が6.6～8.9mg/Lでした。
湾内の透明度は3.5～5.5mで、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1 cell/mL、コクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で0.21 cells/mL確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は18.3～18.8℃、塩分は33.5～34.6でした。

前回調査時(R3.3.25)と比較して、水温は全層で1.1～1.4℃上昇し、塩分は全層で0.1～0.5低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.6～8.9mg/Lでした。

前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層から5m層及び底層で0.1～0.4mg/L増加し、10m層で0.4mg/L低下しました。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は3.5～5.5mでした。

検鏡の結果、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で0.21 cells/mL、カレニア・ミキモイが最高で1 cell/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

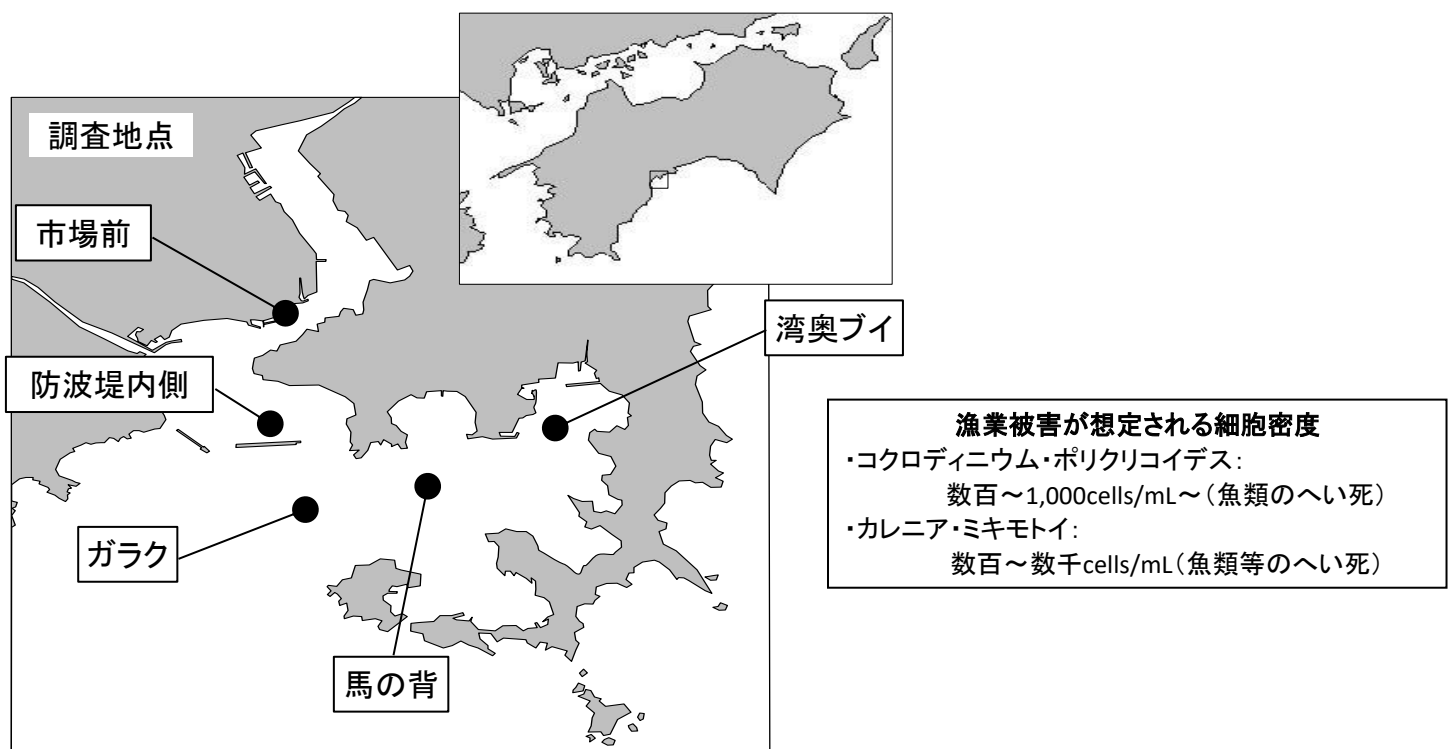


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.3.25)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	18.5	18.5	18.6	18.5	17.2	1.3	17.0	18.5
2m	18.4	18.4	18.5	18.4	17.3	1.1	18.3	18.6
5m	18.3	18.5	18.5	18.4	17.3	1.1	18.6	18.6
10m	18.4	18.4	18.7	18.5	17.3	1.2	18.5	18.4
B-1m	18.6	18.7	18.8	18.7	17.3	1.4	18.5	18.5

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.3.25)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	33.5	33.5	33.6	33.5	33.8	▲ 0.3	30.7	31.7
2m	33.5	33.6	33.7	33.6	34.0	▲ 0.4	32.9	32.9
5m	33.6	33.7	33.8	33.7	34.2	▲ 0.5	33.7	33.6
10m	34.2	34.2	34.3	34.2	34.4	▲ 0.2	34.1	33.9
B-1m	34.5	34.5	34.6	34.5	34.6	▲ 0.1	34.3	34.1

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.3.25)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	8.9	8.7	8.0	8.5	8.1	0.4	8.4	8.0
2m	8.7	8.6	7.8	8.4	8.0	0.4	8.4	8.0
5m	8.3	8.0	7.6	8.0	7.7	0.3	7.8	8.2
10m	6.6	6.7	7.4	6.9	7.3	▲ 0.4	6.8	7.0
B-1m	7.1	7.1	7.5	7.2	7.1	0.1	6.8	6.9

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.7	23.2	17.0	12.7	13.7
透明度	3.5	4.5	5.5	3.5	3.5
前回(3/25)	6.0	6.0	7.0	4.5	3.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		コクロディニウム・ ポリクリコイデス	カレニア・ミキモトイ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0.00	0	80
	2m	0.00	0	40
	5m	0.07	0	200
馬の背	0m	0	0	220
	2m	0	1	120
	5m	0	0	100
ガラク	0m	0	1	580
	2m	0	0	600
	5m	0	0	340
津波防波堤内側	0m	0	0	5
	2m	0	0	5
	5m	0	0	80
市場前	0m	0.00	0	20
	2m	0.09	0	5
	5m	0.21	0	20